

リレー連載

物流がら見た 道路交通計画

経済送輸

もしてトラック輸送が滞れば、日常生活はたちまち困窮してしまう。平成二十三年の東日本大震災では、トラックが緊急支援物資を被災地に届け

る。もしトラック輸送が滞れば、日常生活はたちまち困窮してしまう。平成二十三年の東日本大震災では、トラックが緊急支援物資を被災地に届け



江守 昌弘氏（えもり まさひろ）昭和48年生まれ。神戸大卒。技術士、APPECエンジニア。建設技術研究所東京本社交通システム部長

シヤスト・イン・タイ 遷をトンキロベースでみム（JIT）輸送やインターネット通販が普及し、に送り、現代はトラック生鮮食品や冷凍食品の輸送が増えている。これに伴い、厳格な配達時間の指定、品目ごとの温度管理が求められるようになつた。物流事業者は消費者、荷主からの輸送ニーズに心え続けている。環境負荷の低減や安全・安心の確保など、物流に対する期待が高まる

大都市では、食料品を含む日用品輸送の大部分をトラックが担っている

貨物輸送の主役はトラック

物流の果たす役割と内容は

第2回

我が国の貨物輸送の変

消費支えるインフラへ発展

このように、物流は産業を支えるインフラから、生活を支えるインフラへとその役割を広げ

より高付加価値へと変化し

一方、物流の高付加価値化はソフトな管理技術を加えることにより、物

流の価値そのものを高め、このため、消費者が（商品）をそのまま使えるようにセットしたり、据定した消費生活を支えている。配品をそのまま使えるようにセットしたり、据定した消費生活を支えている。配品をそのまま使えるようにセットしたり、据定した消費生活を支えている。

最近では、ネット通販や商品の要求に応じて徐々に変化しながら、産業活動や消費生活を支えるより付加価値の高い物流に取り組んでいく必要がある。

付加価値の高い物流には、「商品の高付加価値化」と「物流の高付加価値化」がある。商品の高付加価値化とは、商品の価値を物流機能によって高めていくこと。例えば、小麦という原材料からパンが製造される。さらに調理加工を行うとサンドイッチに変わり、これが詰め合わせられてランチボックスとなる。このように少しずつ物流機能が加わることで、高付加価値な商品に変わっていく。

商品と物流の高付加価値化

